

技能継承システム開発「金属管曲げ加工作業」

Skill Inheritance Development System "Metal Pipe Bending Work"

～技能の「見える化」による次世代型技能習熟技術～

POINT 1

各種センサおよびカメラによる作業解析を行い技能を定量化

金属管曲げ加工作業において高品質となる曲げ加工に求められる要素を解析し、作業に関する動きを詳細に数値化します。

POINT 2

熟練作業者との作業分析を行い、数値および映像で比較可能

熟練作業者の作業を繰り返し解析し、安定した品質に繋がる動きの数値を導き出し、技能修業者と熟練作業者の動作の違いを比較可能にします。

POINT 3

計測した値に応じた適切なグラフ表示

計測データの視認性が良くなるよう様々な形式でグラフ表示します。かつ、熟練作業者との動作の違いも一目で判断できるようハイライト表示ができます。

熟練者の作業と目で見て比較でき、
改善点を素早く的確に把握する！
指導力の定量化が図れる！

